

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4156875号
(P4156875)

(45) 発行日 平成20年9月24日 (2008. 9. 24)

(24) 登録日 平成20年7月18日 (2008. 7. 18)

(51) Int. Cl.	F I
G 0 9 F 3/02 (2006. 01)	G 0 9 F 3/02 N
G 0 9 F 3/10 (2006. 01)	G 0 9 F 3/10 A
B 6 5 C 3/08 (2006. 01)	G 0 9 F 3/10 H
	B 6 5 C 3/08

請求項の数 30 (全 13 頁)

(21) 出願番号	特願2002-202287 (P2002-202287)	(73) 特許権者	500277272
(22) 出願日	平成14年7月11日 (2002. 7. 11)		シュライナー ゲゼルシャフト ミット
(65) 公開番号	特開2003-84671 (P2003-84671A)		ベシランクテル ハフツング アンド カ
(43) 公開日	平成15年3月19日 (2003. 3. 19)		ンパニー コマンディトゲゼルシャフト
審査請求日	平成17年4月13日 (2005. 4. 13)		Schreiner GmbH & Co
(31) 優先権主張番号	09/901565		. KG
(32) 優先日	平成13年7月11日 (2001. 7. 11)		ドイツ国 D-85764 オベルシュラ
(33) 優先権主張国	米国 (US)		イシハイム, ブルクマンリング 22
		(74) 代理人	100077539
			弁理士 飯塚 義仁
		(72) 発明者	ピーター ザイドル
			ドイツ国 81371 ミュンヘン, ダ
			ンクルストラッセ 28
		審査官	宮本 昭彦
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 容器に貼り付けるためのラベル

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第1の粘着層を有する底面側及び上面側を備える基部と、
 前記基部に隣接し、このラベルが容器に配置されたとき前記基部を少なくとも部分的に覆う重複部と、
 前記基部に形成された少なくとも1つの除去可能なタグと、
 前記少なくとも1つの除去可能なタグを取外し可能に取り付ける取付手段と、
 前記重複部に形成された少なくとも1つの除去可能な更なるタグであって、型抜き線、連続的な刻み線、ミシン目のうち少なくとも1つによって前記重複部から分離されるものと、
 前記少なくとも1つの除去可能な更なるタグを取外し可能に取り付ける更なる取付手段であって、前記少なくとも1つの除去可能な更なるタグに接して前記重複部の底面側に取り付けられた粘着反発層を備えるものと
 を具備する容器に貼り付けるためのラベル。

【請求項 2】

前記重複部を着脱可能に留めるための留め手段を更に具備する請求項1に記載のラベル。

【請求項 3】

前記粘着反発層は有形物部分の上に配置されている請求項1又は2に記載のラベル。

【請求項 4】

前記有形物部分は、前記少なくとも1つの除去可能な更なるタグに重複する寸法を有する

少なくとも2つの面を持つものであり、前記粘着反発層は、前記少なくとも1つの除去可能な更なるタグの表面領域に実質的に対応する表面領域を有する請求項3に記載のラベル。

【請求項5】

前記少なくとも1つの除去可能な更なるタグの上面には印刷がなされている請求項1乃至4のいずれかに記載のラベル。

【請求項6】

前記有形物部分には、前記少なくとも1つの除去可能な更なるタグに付けられた情報と同様の情報が印刷されている請求項3又は4に記載のラベル。

【請求項7】

前記有形物部分は粘着層を含み、この粘着層は粘着解消手段で覆われている請求項3又は4に記載のラベル。

【請求項8】

前記粘着解消手段は、前記粘着層の上に塗布されたワニスからなる請求項7に記載のラベル。

【請求項9】

前記基部は、前記少なくとも1つの除去可能なタグに近接する拡張された領域を含む請求項1乃至7のいずれかに記載のラベル。

【請求項10】

前記基部は、ラベルが貼り付けられるべき容器の周囲に実質的に対応する長さを持つ請求項1乃至9のいずれかに記載のラベル。

【請求項11】

前記第1の粘着層が前記重複部にまで延びて設けられている請求項1乃至10のいずれかに記載のラベル。

【請求項12】

前記留め手段が、前記基部から離れた前記重複部の縁部領域上に設けられた留め用の粘着層を含む請求項2に記載のラベル。

【請求項13】

前記留め用の粘着層が、非粘着性の隅片を形成する凹みを含む請求項12に記載のラベル。

【請求項14】

前記重複部を着脱可能に留めるための前記留め手段は、前記ラベルの上面に配置された粘着反発性の上面円滑層を含む請求項2に記載のラベル。

【請求項15】

前記重複部は、ラベルが貼り付けられるべき容器の周囲に実質的に対応する長さを持つ請求項1乃至14のいずれかに記載のラベル。

【請求項16】

前記重複部の底面側に配置された少なくとも1つの情報シートを更に具備する請求項1乃至15のいずれかに記載のラベル。

【請求項17】

第1の粘着層を有する底面側及び上面側を備える基部と、
前記基部に隣接し、このラベルが容器に配置されたとき前記基部を少なくとも部分的に覆う重複部と、

前記基部に形成された少なくとも1つの除去可能なタグと、

前記少なくとも1つの除去可能なタグを取外し可能に取り付ける取付手段と、

タグ粘着層を含む前記重複部の上面側に設けられた少なくとも1つの除去可能な更なるタグと、

前記重複部の上面側に配置された粘着反発性の上面円滑層と

を具備し、前記少なくとも1つの除去可能な更なるタグが前記粘着反発性の上面円滑層に対して取外し可能に接着されることを特徴とする容器に貼け付けるためのラベル。

10

20

30

40

50

【請求項 18】

前記重複部を着脱可能に留めるための留め手段を更に具備する請求項 17 に記載のラベル。

【請求項 19】

前記少なくとも 1 つの除去可能な更なるタグは、前記重複部の中央部分に配置される請求項 17 又は 18 に記載のラベル。

【請求項 20】

前記少なくとも 1 つの除去可能な更なるタグには印刷がなされている請求項 17 乃至 19 のいずれかに記載のラベル。

【請求項 21】

前記重複部の上面には、前記少なくとも 1 つの除去可能な更なるタグに印刷されたのと同様の情報が印刷されている請求項 20 に記載のラベル。

【請求項 22】

前記少なくとも 1 つの除去可能な更なるタグは、非粘着性の端部片を持つ請求項 17 乃至 21 のいずれかに記載のラベル。

【請求項 23】

前記基部は、前記少なくとも 1 つの除去可能なタグに近接する拡張された領域を含む請求項 17 乃至 22 のいずれかに記載のラベル。

【請求項 24】

前記基部は、ラベルが貼り付けられるべき容器の周囲に実質的に対応する長さを持つ請求項 17 乃至 23 のいずれかに記載のラベル。

【請求項 25】

前記重複部の底面側の中央部分は、粘着作用が効かないようになっている請求項 17 乃至 24 のいずれかに記載のラベル。

【請求項 26】

前記留め手段が、前記基部から離れた前記重複部の縁部領域上に設けられた留め用の粘着層を含む請求項 18 に記載のラベル。

【請求項 27】

前記留め用の粘着層が、非粘着性の隅片を形成する凹みを含む請求項 26 に記載のラベル。

【請求項 28】

前記重複部を着脱可能に留めるための前記留め手段は、前記ラベルの上面に配置された粘着反発性の上面円滑層を含む請求項 18 に記載のラベル。

【請求項 29】

前記重複部は、ラベルが貼り付けられるべき容器の周囲に実質的に対応する長さを持つ請求項 17 乃至 28 のいずれかに記載のラベル。

【請求項 30】

前記重複部の底面側に配置された少なくとも 1 つの情報シートを更に具備する請求項 17 乃至 28 のいずれかに記載のラベル。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、容器、好ましくは円筒状の容器、に貼り付けるためのラベルの技術分野に関し、また、そのようなラベルを備えた容器に関する。加えて、本発明は、そのようなラベルが少なくとも 1 つの除去可能なタグと該除去可能なタグを取外し可能に付属させる付属手段と具備することに関する。特に、本発明は、そのようなラベルが、底面に第 1 の粘着層を有する基部と、このラベルが容器に配置されたとき該基部を少なくとも部分的に覆う重複部とを有していることに関する。

【0002】**【従来の技術】**

この種の従来知られた一般的なタイプのラベルは、例えばヨーロッパ特許第0463193．B1号に示されている。そのようなラベルは主に医薬品を入れる容器に貼り付けるのに使用される。自己粘着で除去可能な1又は複数のタグには容器の内容物に関する情報を含んでいる。この自己粘着かつ除去可能なタグは取り外して記録書類に貼り付けることができるので、容器の内容物についての情報が、内容物の誤認というような混同や間違いが起こる危険性なしに記録書類に転写される。

【0003】

医薬品においては、小さな容器のラベルに直接容器の内容物に関する大量の情報を提供できるようにする必要性が益々高まってきている。一般的に少なくとも2枚用意されている除去可能なタグには、たいてい単に使用期限と製造番号が記載されている。タグに比較的少量の情報しか与えられていないにも拘らず、個々のタグの大きさは、タグの扱いを便利にするため（つまり、自己粘着タグの分離と記録書類上への貼りつけとを簡単に行えるようにするため）に最少限の大きさを持っていなければならない。しかし、これらのタグは、容器にラベルを貼る直前に薬品製造者によって一般に機械印刷されるので、印刷配置においてある程度の誤差を許容し得る（つまり印刷の多少の配置ミスを認容し得る）サイズでなければならない。加えて、薬品製造者は最近ますます2枚のものだけでなく3枚若しくはそれ以上の枚数の除去可能タグがついたラベルを求めている。これら全ての要求は、小さな容器のジャケット面のほとんどがタグによって簡単に覆われてしまう結果を招き、他の医学的に重要な情報を提供するスペースがほとんどないということになる。

【0004】

米国特許第6,193,279．B1号は、容器、好ましくは円筒状の容器、に貼り付けるためのラベルを開示している。そのラベルは少なくとも1枚の除去可能なタグと、取り外し可能に付属させる付属手段とを具備する。特に、そのラベルは、底面に第1の粘着層を持つ基部と、ラベルが容器に配置されるとき少なくとも部分的に該基部を覆う重複部とを含んでいる。これにより、ラベルを付けた容器のジャケット面を最適に使用することが達成できる。ラベルを貼る容器の直径が非常に小さいと、その種のラベルに除去可能タグを3枚若しくはそれ以上つけることは難しい。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は上述の点に鑑みてなされたもので、先に述べたタイプのラベルにおいて、容器の全ジャケット面よりも広く覆えるラベルが、情報を提供するために使用され得るようにすることを目的とする。

この目的は、基部に設けられた少なくとも1つの除去可能なタグと、重複部に設けられた少なくとも1つの除去可能な更なるタグとを有するラベルを提供することによって達成される。

【0006】

実際、本発明によれば、望みに応じて容器の全ジャケット面を覆うことが出来る重複部にいかなる形態においても情報を付加することが可能になる、という驚くべき結果が得られる。重複部の上面はいかなる方法でも予め処理する必要はないので、ラベル完了後に、最終消費者によって、例えばインクジェット・プリンターで、その全部又は一部分に情報を付加することが出来る。同様に、本発明に従うラベルは、そのサイズと数（枚数）に関して従来技術のラベルに比べてはるかに優れている。なぜなら、（望みとあらば）容器の全ジャケット面より広範囲にわたって、基部と重複部に付属されたタグが利用可能になり、それゆえほとんど無限の効用が提供できるからである。

【0007】

基部に収容されている除去可能なタグが重複部に完全に覆われた時、広範囲な情報表面と広範囲な表面が、容器のジャケット面に対して、タグ用に提供される。よって、本発明の有利な実施例によれば、重複部を取り外し可能に留める留め手段が提供される。半永久的な情報及び少なくとも1つの除去可能なタグが設けられていてよい重複部が、一時的に留め手段を用いて持ち上げられ、容器から巻きほどかれて、基部に形成された除去可能なタ

グがアクセス可能となり、別の使用目的のためにそれを取り外すことができるようになる。1又は複数のタグを取り外した後、重複部は再び容器のまわりに取り付けられることができるため、基部とそのタグとを完全に覆っている位置がそのオリジナル位置とみなされる。

【0008】

本発明の有利な実施例によると、除去可能な1又は複数のタグを取り外し可能に取り付けるための取付手段は、基部と重複部それぞれの底面に取り付けられ、そして、除去可能なタグに接する、底面円滑層からなる。ラベルが容器につけられるとき、この底面円滑層はタグと容器の表面の間に或る範囲で横たわっており、自己粘着性のタグが容器の表面にしっかりとくっつくのを防ぐ。

10

【0009】

本発明の有利な実施例によると、底面円滑層は適宜の有形物部分に配置されている。好ましくは、有形物部分は、ラベルの長さ方向においてはラベルに重複する長さを持ち、一端部はラベルの外側縁部と同じになっていて、その反対側の端部はタグの端部を少し超えて延びている。逆に、底面円滑層はその表面積において1又は複数のタグの表面積におおむね対応する。こうして、底面円滑層を持つ有形物部分は底面円滑層が有形物部分より狭い面積を持っているので、ラベルの底側にある第1の粘着層にしっかりと接着する。

【0010】

底面円滑層は有形物部分の上に印刷・塗布されることが可能であり、もし望むならば、基盤目格子状その他同様の構造が、タグと底面円滑層又は有形物部分の間の粘着力を制御するために用いられる。

20

好ましくは、基部に設けられているタグに関連するものである限り、有形物部分は、タグに対面していない面側において固定粘着層が設けられていてよく、これにより、容器に当該有形物部分を確実にしっかりと固定することを可能にする。

【0011】

本発明の有利な実施例によると、タグは、連続する刻み線または型抜き線を設けることにより、基部及び重複部それぞれから分離することが可能であるが、それにもかかわらず、ラベルを貼っている間でさえ比較的確実に位置を保つことができるということが分かっている。

【0012】

30

好ましくは、タグには、除去の補助手段として用いられ、またタグを除去して記録書類に貼りつける際に利用者がタグの接着剤に接触するのを防ぐ、非粘着質の端部片が設けられていてよい。

【0013】

本発明の有利な実施例によると、ラベルの基部はタグの領域において拡張されたエリアを有している。この拡張されたエリアにより、基部は重複部によって完全に覆われておらず、代わりに、タグの狭い端の細長い一辺が見えるようになる。よって、基部のタグは利用者にはっきり見えた状態で利用可能なので、利用者が基部に設けられているタグに近づくために、ただ一時的に重複部を除去するだけでよいことが明らかである。

【0014】

40

好ましくは、基部はラベルが貼り付けられるべき容器の周囲に対応する長さからなっているよい。基部はその底面側に第1の粘着層を持つので、ラベルを容器に貼り付けるときに、基部全体がしっかりと容器へ結合される。

【0015】

好ましくは、基部に設けられた第1の粘着層は、少なくとも部分的に、重複部の方にまで延長されるので、重複部もまた比較的しっかりと基部に貼りつけられる。

【0016】

少なくとも基部と反対側の重複部の端部（空いている端部）の領域において、重複部のこの空いている端部を確実にしっかりと留めるようにする留め用の粘着層が設けられる。好ましくは、取外し補助手段として非粘着性の隅角が形成されるように、この留め用の粘着

50

層の一つの角がへこんでいる。

【0017】

本発明のもう一つの有利な実施例によると、重複部の中央部分が非粘着性になっているので、重複部を持ち上げることが容易になる。特に、これは重複部を持ち上げられた際、個々のタグが基部から破り取られる可能性を防いでいる。同様に、タグが接着剤で汚れないようにしている。

【0018】

本発明の有利な実施例によると、重複部を取り外し可能に留める留め手段は、重複部の空いている端部に設けられた留め用の粘着層からなっている。

別の実施例においては、重複部を取り外し可能に留める留め手段は、ラベルの上面に配置された粘着反発性の上面円滑層をも含んでいてよく、これにより、容器へラベルを貼った後、留め用粘着層が上面円滑層へ接着し、上面円滑層から簡単に取り除かれるようになる。

【0019】

好ましくは、すでに説明されているように基本的情報が設けられていてよい重複部は、ラベルが貼り付けられるべき容器の周囲におおむね対応した長さを持っている。重複部が容器の周囲より大幅に長く設けられているならば、それゆえ重複部は容器上で繰り返し重なって巻きつけられてよい。

重複部の底面側の上に情報シートが配置され、それは両側に印刷されていてよい。もちろん小冊子の形で複数枚の情報シートを貼りつけることも可能である。

【0020】

もう一つ別の実施例によると、1又は複数のタグが、タグ粘着層を持っていて、基部の上面および／又は重複部の上面に配置されるようになっていてよい。

ここで、基部と重複部それぞれの上面に、少なくとも1枚のタグが一時的に接着する粘着反発性の円滑層が設けられていると、都合がよい。

本発明は、容器の周囲全体へ接着する第1の粘着層が設けられた基部と、基部が少なくとも部分的に覆われる重複部と、少なくとも1枚の除去可能なタグとを有することを特徴とするラベルに関する。

【0021】

いずれの方法にせよ、製品情報及び使用法説明のために容器のジャケット面全体を使用できるようにするために、本発明は、基部に設けられた少なくとも1枚の除去可能なタグと、重複部にあるさらにもう1枚の除去可能なタグと、除去可能なタグを取り外し可能に取り付けるためにタグと容器の間に設けられた取付手段とを提供する。

有利な実施例によると、本発明は、ラベルが貼られる容器の周囲に対応する長さを持つ基部を設けてよい。また別の実施例によると、本発明は、ラベルが貼り付けられるべき容器の周囲におおむね対応する長さを持つ重複部を設けてよい。ラベルを製造するため、フィルム（透明又は不透明な）、紙若しくは合成物質が用いられる。

【0022】

本発明に従うラベルは粘着領域と非粘着領域とを持ち得るので、ラベルが選択的に接着剤（粘着剤）に覆われるようにするか、あるいは、長い材料の表面全体を接着剤（粘着剤）で覆い、それから、所定の表面領域が、接着剤（粘着剤）の効力を中和する物質（時にこれを粘着解消部とも呼ぶ）でこれらの領域を塗り重ねるか覆うことにより、非粘着性にされるようにしてよい。

【0023】

ラベルは、ほとんどいかなる印刷処理で印刷されることができ、ラベルの表面が印刷媒体として用いられてよい。しかし、透明な材料が用いられる場合、ラベルは、底面の上にも、つまりその後に接着剤で覆われる面の上にも、都合よく印刷されることができる。この場合の文字は、鏡文字で適用されねばならない。一般に、文字はそれから背景印刷インクで塗り重ねられる。印刷をこのように行うバージョンは、フィルムと容器の間に印刷物が位置するので、加えられた印刷がラベルフィルム自身によって次第に消えていくことから

10

20

30

40

50

保護される。

【0024】

本発明の実施例は、様々な図において図式的に示される実施例で、下記に詳細に述べられる。図における製図法は一律の比率で描かれていないことに注意されたい。特に、図示を明瞭にするため、他の寸法と比べて、層の厚さはかなり大きめにして描かれている。

【0025】

【発明の実施の形態】

図1は、本発明の一実施例に従うラベル1の上面図であり、参照番号1で全体的に示されたベースフィルムと添字で示されたその付属部品とを具備している。ラベル1はその大まかな輪郭形状においておよそ四角い形をしており、基部1aと基部1aに隣接する重複部1bとを一体に有している。基部1aはラベルが貼り付けられるべき容器（図示せず）の周囲に対応する長さを持つ。また、ラベルは、フィルム（透明又は不透明な）、紙、またはその他合成物質を用いて製造されてよい。

【0026】

図示された実施例の基部1aにおいて、除去可能または取り外し可能なタグ3a及び3bを形成する合計4本の四角形をなす刻み線がある。重複部1bには、1枚の除去可能な更なるタグ20を形成する3本の四角形をなす刻み線がある。タグ3a、3b及び20は、人が簡単にタグをつかむことが出来るよう、それぞれ一端が基部1aと重複部1bの長い外側端と共通になるように配置されている。タグ3aと3b及びタグ部分を越えた或る程度の範囲において、基部1aは追って詳しく説明する拡張されたエリア8を有している。重複部1bの近傍の基部1aの領域におけるラベル1の上面において、ラベル1は粘着反発性の上面円滑層5が設けられている。基部1aに隣接しているラベル1の重複部1bは、同様に、容器の表面の寸法に大体対応した長さを持っている。重複部1bの上面には、図において「text」という単語の繰り返しによって象徴的に表わされているように、適宜の印刷物（表示物）が付与されている。もちろん、この印刷物はいかなる形及び色を持っていてもよい。また、特に、図1に示されたラベル1の上面は本実施例のラベルを実現するにあたって（上面円滑層5を除き）格別の前処理がなされる必要がまったくないので、典型的な印刷処理を施すことに限定されるものでもない。型抜きされた除去可能なタグ3a、3b及び20もまた印刷された文章／テキスト（特に図では表示していないが）を含んでいてよい。通常、そのような印刷された文章／テキストとしては、例えば使用期限のような最新印刷物がラベルに適用する直前に設けられる。加えて、従来よりお決まりの内容の印刷物、例えば容器に入っている製品の名前などの印刷物があってもよい。

【0027】

図2は、図1のラベルの長手方向縦断面図である。この図は容易に認識される基部1aと重複部1bをはっきり示している。この図は、また、基部1aのフィルムを型抜きしたタグ3a、3b及び20と、重複部1bと、図1に関連して上述した粘着反発性の上面円滑層5とをも明瞭に示している。加えて、図2にもまた示されているように、基部1aと重複部1bは、その底面側において、第1の粘着層2により覆われている。重複部1bの中央領域12（図3にも示されている）は非粘着（後に説明されているように）なので重複部1bを持ち上げることが容易になされる。特に、これは重複部1bが持ち上げられたとき、基部1aから各タグ3aと3bが引き破られる可能性を防いでいる。また、タグ3aと3bを粘着物で汚さないようにしている。

【0028】

除去可能なタグ3a、3b及び20の領域において、これらの領域を幾分超える範囲で、第1の粘着層2はフィルム片又は有形物部分15a、15bにより覆われている。これらのフィルム片又は有形物部分15a、15bの各々は、ベースフィルム1に対面している面側に底面円滑層4a、4bを持つ。有形物部分15a、15bの反対側（ベースフィルム1に向いていない側）において、有形物部分15aと15bには固定粘着層7aと7bが設けられており、固定粘着層7bは容器へ有形物部分15bを固定するものであるが、後述するように、粘着層7aは粘着解消部21により覆われている。有形物部分15aと

15bは各々ラベル1の長さ方向においてタグに重複しており、また一端部は基部1aと重複部1bの外側端と共通しており、それとは反対側の端部はタグの端部を少し超えて延びている。言い替えれば、図示された実施例において、有形物部分15aと15bの各々はタグ3a、3b及び20の表面エリアより大きな表面エリアを有している。有形物部分15aと15bは、底面円滑層4aと4bが図2にはっきりと示されているように有形物部分15aと15bより小さな表面エリアを有しているため、第1の粘着層2にしっかりと粘着する。図2において、有形物部分15aと15bと第1の粘着層2の間に距離があるかのように描かれているのは、図示を明瞭にする目的で、各層が誇張された厚さ寸法で図示されているからである。現実には、底面円滑層4a、4bはほんの数ミクロンの厚さしかないので、このように描かれた距離は実際には存在しない。有形物部分15aの固定粘着層7aは粘着解消部21すなわち粘着作用を緩和する材料の層により覆われている。こうして、重複部1bにおける非粘着中央領域12すなわち粘着性がない領域が設けられる。

10

【0029】

図3は、ラベルの下面から見た、つまり接着剤により覆われた側から見た、図1のラベルの裏側を表わしている。図2に関連して上述された第1の粘着層2は図3ではっきりと見ることが出来る。粘着層2は端部の隅角の領域にくぼんだ部分を含んでおり、非粘着性の隅片11が除去用補助手段としての使用のために形成されるようになっている。同様のくぼんだ部分が、各タグ3a、3bの端部領域に設けられており、該タグが非粘着性の端部片9a、9bを用いて除去できるようになっている。図3はまた、有形物部分15bに適

20

【0030】

表現された実施例においてははっきりと判るように、有形物部分15bのサイズはタグ3aと3bの非粘着性の端部片9a、9bを覆わないように選定されており、これにより、ベースフィルム1の断片の取り外し易さを一層改善するようになっている。同様に、基部1aのタグ3aと3bが有形物部分15bとその円滑層4bによって覆われているように、重複部1bに設けられているタグ20はその底面で有形物部分15aとその円滑層4aによって覆われている。有形物部分15aの粘着層7aが粘着解消部21によって覆われているため、有形物部分15aは容器に固定されない。その代わりに、有形物部分15aは、第1の粘着層に対面しているその表面が円滑層4aにより完全には覆われていないという事実のために、重複部1bの底側にしっかりと付属される。従って、有形物部分15aは、重複部1bが容器から持ち上げられたとき該重複部1bにくっついていく。こうして、有形物部分15aは、重複部1bのタグ20を取り外すことでその機械的強度が弱められた時、該重複部1bの機械的強度を支えるのに役立つ。

30

【0031】

原理的には、有形物部分15aの粘着層7aを省略することは可能であり、その場合、粘着解消部21の層はなくてよい。しかし、粘着層7a、7bを含む有形物部分15a、15bは一連の長尺物（連続するウェブ）から製造され、後述するように、製造過程をかなり容易にする。

40

【0032】

図1乃至図3に示されたラベルは以下のように処理される。

該ラベルは、一般的に、粘着反発性の円滑層を持つ搬送ベルト（図示せず）上に置かれる。それゆえ、搬送ベルトが走る方向はラベルの縦方向と平行である。ラベルは、各基部1aが搬送方向に関して前向き横たわるように搬送ベルト上に置かれる。搬送ベルトは、搬送ベルトからラベルを分離させる分離端（図示せず）の上に、周知の技術を用いて引っ張られる。基部1aの空いている端縁1cが該分離端の上に来たラベルは、回転する円筒状の容器（図示せず）と接触するようになり、そこで第1の粘着層2が該容器のジャケット面に接着される。

【0033】

50

基部 1 a が容器の外周の長さを持っているため、底面円滑層 4 b と固定粘着層 7 b を伴う有形物部分 1 5 b を含む基部 1 a は、容器の外側ジャケット面の周りに配置され、これら二つの部品間に強力な結合が確立される。容器が 2 度目に回転する際、重複部 1 b は、重複部 1 b の空いている端部（自由端）が基部 1 a に届くまで、より正確には、留め用の粘着層が基部 1 a の粘着反発性の上面円滑層 5 に届くまで、基部 1 a の上に巻きつけられる。重複部 1 b は空いている端部（自由端）の先端 1 d ともう一方の端とで第 1 の粘着層 2 によってしっかり留められる。

【0034】

ラベル 1 が貼り付けられた容器 1 3 は図 4 にはっきり図解されている。明らかなように、容器 1 3 の円筒の円筒状ジャケット面全体は容器の内容物についての情報を持った重複部 1 b により覆われている。タグ 3 a と 3 b の領域にある基部 1 a の拡張エリア 8 により、タグ 3 a と 3 b の位置を確認するラベルの上端にあるタグ 3 a と 3 b の小さな部分が、ひとたびラベルが容器 1 3 に貼りつけられると、利用者によって容易に見分けられることができるようになる。

【0035】

タグ 3 a と 3 b に到達するために、利用者は、非粘着性の隅片 1 1 の助けを得て、重複部 1 b の空いている端を引き離し、それにより、タグ 3 a と 3 b を露出させる。それから、利用者は非粘着性の端部片 9 a, 9 b により 1 又は複数のタグをつかんで除去し、除去したタグを資料目的でどこにでもしっかり固定することが出来る。これらの非粘着性の端部片 9 a, 9 b は、タグが除去されて記録書類へ貼りつけられる時、利用者がタグの粘着剤に触れることを防ぐ。タグ 3 a と 3 b は、それらが粘着反発性の底面円滑層 4 b に接着されているので、容易に切り離すことができる。望むなら、碁盤目状格子その他類似の構造が、タグと底面円滑層 4 b または有形物部分 1 5 b との間の粘着力を制御するために用いることも可能である。希望する枚数のタグを除去した後、利用者は、先に図 4 に図示した状態が復元されるように、容器 1 3 の周りを重複部 1 b で包む。いかなる場合でも、既に説明したようにタグが重複部 1 b により完全に覆われないので、どのタグがすでに除去されたかを見分けることが出来る。重複部 1 b が容器の周囲より大幅に長く設けられている場合、重複部 1 b は容器上で繰り返し巻けつけられるようになっていてよく、その場合は重複部 1 b はそれ自身をも重複する。

【0036】

重複部 1 b に設けられている除去可能な更なるタグ 2 0 は、容器から重複部 1 b を持ち上げる必要なく、単純にそれをつかみ、重複部 1 b から引き剥がすことによって、切り離すことが可能である。もし、除去可能なタグ 3 a, 3 b 及び 2 0 上の情報が、これらのタグの下にある有形物部分 1 5 a と 1 5 b と同じならば、ラベルが貼りつけられた容器 1 3 の情報はタグが除去された後でさえ変わらないまま残っている。

【0037】

本発明の別の実施例が図 5 に示されている。図 5 に示されたラベルは、重複部 1 b の底側に留められた 2 枚の追加情報シート 1 6, 1 7 が設けられている点でのみ、図 2 に示されたものと相違している。情報シート 1 6 は基部 1 a の第 1 の粘着層 2 の端に固定される。情報シート 1 6 と第 1 の粘着層 2 との間の距離は、その間にある各種の層の拡大された厚みを図示しているが故に、図の上では距離が存在しているかに見えるが、実際は事実上存在していないほどである。情報シート 1 7 を留めるために、小さな追加の第 4 の粘着層 1 8 が使われている。情報シート 1 6 と 1 7 には、それらが重複部 1 b の非粘着中央領域 1 2 の内部に取り囲まれて、ラベルが貼りつけられるべき容器の周囲がそれで包まれるような、長さを持つ。その他については、図 5 に示されたラベルの構造は、図 2 に示されたラベルと全く同じであるため、図 2 の説明をそのまま援用する。

【0038】

本発明の更に別の実施例が図 6 に示されている。図 6 に示されたラベルは、タグ 2 0 が、そしてタグ 3 a, 3 b も同様に、重複部 1 b と基部 1 a の上面にて別の部品として設けられている点が、図 2 に示されたラベルとは相違している。この実施例において、重複部

1 b の上面には粘着反発性の上面円滑層 2 2 が設けられている。タグ 2 0 には、タグ 2 0 を上面円滑層 2 2 へ除去可能に接着するタグ粘着層 1 9 が設けられている。さらに、図 6 に示されたラベルには第 1 の粘着層 2 へ接着されている 2 枚の情報シート 1 6, 1 7 からなる小冊子が設けられている。重複部 1 b の中央領域 1 2 は非粘着層なので、情報シート 1 6 は小冊子の背の部分だけで接着する。その他については、図 6 に示されたラベルの構造及び取り扱いは、図 2 に示されてラベルと全く同じであるため、図 2 の説明をそのまま援用する。

【0039】

図 7 に示された更なる実施例においては、図 6 の実施例に関して既に説明したのと同様に、重複部 1 b の除去可能なタグ 2 0 が重複部 1 b の上面に取り付けられているに對して、基部 1 a のタグ 3 a, 3 b は、図 2 の実施例に関して既に説明したのと同様に、該基部 1 a において型抜き線により設けられている。図 7 の実施例は、いくつかの実施例のいろいろな組み合わせが可能であることをデモンストレーション的に示すものである。

【0040】

図 2 のラベルは、一例として以下のように製造することが可能である。

透明なポリプロピレンの透明フィルムからなる連続した長さの材料（図示せず）には、基部 1 a、重複部 1 b、特に基部 1 a と重複部 1 b のタグ 3 a、3 b 及び 2 0、のために意図された印刷物（図示せず）が設けられている。その印刷物は、ラベル完成後に上面から見たとき、ラベルの上に残される印刷物の鏡像からなる。背景対比インクが全体にもしくは部分的にこの印刷物の上に印刷される。本発明の或る実施例において、例えば容器 1 3 の満杯レベルをチェックするなど、容器 1 3 の中を目で点検できるようにするために、基部 1 a における少なくともひとつの小さな「窓」と、重複部 1 b における対応する「窓」とが、露出されるように残しておくことは都合が良いかもしれない。

【0041】

上記のように印刷されたフィルムの同じ側の面にて、その上から、接着剤がプリントされ、図 3 に見られるように第 1 の粘着層 2 を定義する粘着層の所定のパターンが生じるようにされる。もちろん、接着剤は、非粘着性の端部片 9 a、9 b と非粘着性の隅片 1 1 をそれぞれ設けるように、プリントされる。同時に、シリコン処理された表面をもつ担体ウェブが部分的にワニスで印刷され、これが図 2 に関して説明された粘着解消部 2 1 の層を構成する。粘着層が設けられた透明なポリエステル製の連続するウェブが、担体ウェブのシリコン処理された表面と印刷されたワニス部分のそれぞれに接触させられるように、その粘着層で上記担体ウェブに重ね合わされる（ラミネートされる）。このポリエステル・ウェブの上面（つまり粘着層で覆われていない側の面）は、底面円滑層 4 a, 4 b を形成するために、それからシリコンで印刷される。それから、重ね合わされたものが型抜きされて、図 2 および 3 に示された底面円滑層 4 a, 4 b を持つ有形物部分 1 5 a, 1 5 b のみが残し、かつ固定粘着層 7 a, 7 b を持つ担体物に粘着するようにされる。

【0042】

こうして準備された適宜の長さの二つの材料物は、精密に一緒に重ね合わされる（ラミネートされる）。一緒に重ね合わされ材料物は再度型抜きされ、それにより、図 1 に示されているようなラベルの輪郭を生成する。この型抜きにおいて、刻み線も作成され、それはタグ 3 a, 3 b そして 2 0 を輪郭づける。それらは連続する刻み線、型抜き線、もしくはミシン目の抜き型でできる。そのあと、図 1 および図 2 に示された形状のラベルが、搬送ベルト（図示せず）上で処理用に利用可能である。

【0043】

ラベル製造の第 2 バージョンでは、ラベルの基本材料は、粘着剤で底面の表面全体が覆われた、不透明な適宜の長さの材料物（紙またはプラスチック・フィルム）であってよい。底面と反対側の上面は、例えば文字押し付け印刷またはフレクソグラフ印刷などの在来手法を用いて望みのやり方で印刷して、重複部と基部、特にそのタグには希望する印刷物（表示物）が設けられる。それから、粘着力をキャンセルするラッカーが、非粘着性の端部片 9 a、9 b および非粘着性の隅片 1 1 に対応して、材料物の底面にある連続する自己

粘着層の上に印刷される。これにより、第1の粘着層の製造において、ラッカーで印刷された他の部位が非粘着質に作られるように結果する。

その他の部分の製造工程は、上述した第1のバージョンと全く同一であるから、繰り返しを避けるためここでは説明を省略する。

【0044】

以上のように、本発明に従う様々な実施例が示され、説明されたが、本発明はなおこれらに限定されるものではないことが理解されよう。これらの実施例は、さらにこの分野の技術で熟練を有する者により、変更され、改善され、さらなる応用形態が付加されてよい。それゆえ、この発明は、先に示され、説明された詳細な実施例に制限されず、特許請求の範囲に記載された範囲内に含まれるすべての変更や変形をも含んでいる。

10

【0045】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、基部に設けられた少なくとも1つの除去可能なタグと、重複部に設けられた少なくとも1つの除去可能な更なるタグとを有するようにラベルを構成したので、容器の全ジャケット面よりも広く覆えるラベルが提供されると共に、このラベル及びタグによって提供可能な情報量を増すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例に従うラベルの上面図。

【図2】 図1のラベルの長手方向縦断面図。

【図3】 図1のラベルの反対側の面を示す図。

20

【図4】 図1のラベルが貼り付けられた容器の一例を示す側面図。

【図5】 本発明の別の実施例に従うラベルの長手方向縦断面図。

【図6】 本発明のさらに別の実施例に従うラベルの長手方向縦断面図。

【図7】 本発明のさらに他の実施例に従うラベルの長手方向縦断面図。

【符号の説明】

1 ラベル（ベースフィルム）

1 a 基部

1 b 重複部

2 第1の粘着層

3 a, 3 b 除去可能なタグ

30

2 0 除去可能な更なるタグ

4 a, 4 b 底面円滑層

5 粘着反発性の上面円滑層

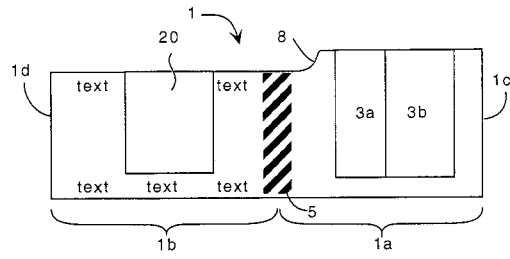
1 5 a, 1 5 b フィルム片又は有形物部分

7 a, 7 b 固定粘着層

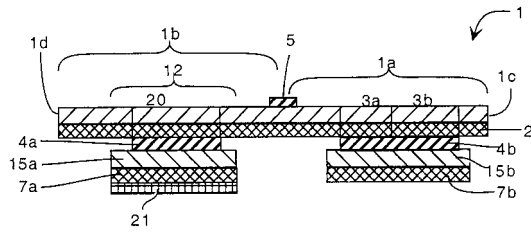
2 1 粘着解消部

1 6, 1 7 情報シート

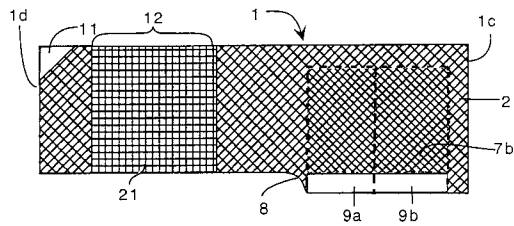
【図 1】



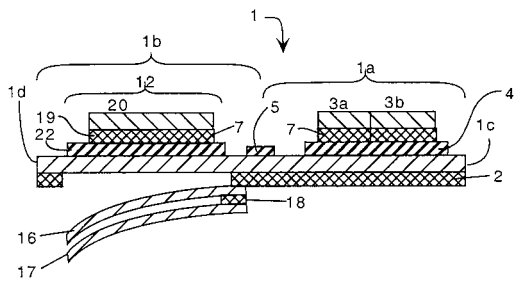
【図 2】



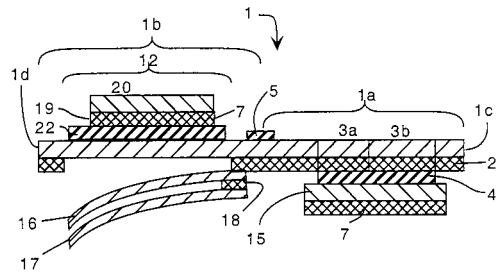
【図 3】



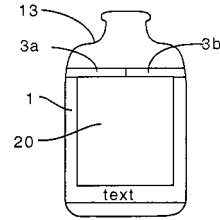
【図 6】



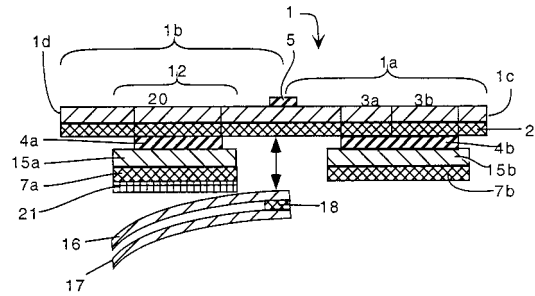
【図 7】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特表2001-506380 (JP, A)
特開平8-166765 (JP, A)
米国特許第5829789 (US, A)
米国特許第6035568 (US, A)
欧州特許出願公開第463193 (EP, A1)
国際公開第01/029804 (WO, A1)
英国特許出願公開第2310418 (GB, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G09F 3/02
G09F 3/10
B65C 3/08
B65D 23/00